

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年12月19日

計画の名称	大牟田市における快適な生活環境の整備（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大牟田市												
計画の目標	下水道の整備促進により、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,010	A	7,510	B	0	C	500	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	6.24	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R5当初		R9末	
1	下水道処理人口普及率（%）を 72.5%（R5当初）から81.5%（R9末）に向上させる。 下水道処理人口普及率（%） （下水道を利用できる地域の人口（人）） / （行政人口（人））	72%	%	81%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初現況値R4末、最終目標値R9末データを採用する。														

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大牟田市	直接	大牟田市	管渠 (新設	北部処理区污水管渠整備	污水管渠17,900m、A=100ha	大牟田市	■	■	■	■	■	2,540		—
下水道事業	A07-002	下水道	一般	大牟田市	直接	大牟田市	管渠 (新設	南部処理区污水管渠整備	污水管渠33,100m、A=224ha	大牟田市	■	■	■	■	■	4,960		—
下水道事業	A07-003	下水道	一般	大牟田市	直接	大牟田市	終末処	改築	污水处理施設の集約化	污水处理施設の集約化に伴う 検討	大牟田市	■	■	■	■	■	10		—
											小計						7,510		
											合計						7,510		

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	C07-001	下水道	一般	大牟田市	間接	個人	—	—	接続補助（下水道区域全 域）	排水設備 N=4,300件	大牟田市	■	■	■	■	■	290		—		
		個人の排水設備の設置及び水洗トイレへの改造に対する費用の一部を助成することにより、下水道の更なる普及を図り、快適な生活環境の整備を一層高める。																			
	C07-002	下水道	一般	大牟田市	間接	個人	—	—	私道整備補助（下水道区 域全域）	排水設備 N=140件	大牟田市	■	■	■	■	■	210		—		
		個人の私道に設置される排水設備に対する費用の一部を助成することにより、下水道の更なる普及を図り、快適な生活環境の整備を一層高める。																			
											小計							500			
											合計								500		

事前評価チェックシート

計画の名称： 大牟田市における快適な生活環境の整備（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 地域目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 1) 整備に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 3) 計画について地域の協力が見込める。	○

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

